

平成28年度 学校経営方針

1 本校の性格と任務

附属中学校は、小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すとともに、次の各号に掲げる任務を果たすことを目的とする。

- (1) 教育福祉科学部における生徒の教育に関する研究に協力し、教育福祉科学部の計画に従い、学生の教育実習の実施に当たること。
- (2) 教育の理論的、実証的研究を行うとともに、他の学校との教育研究の協力及び教育研究の成果の交流を行うこと。
- (3) 地域の先進的・先導的なモデル校として、地域の教育委員会と連携して実践し、情報を発信する。

2 学校経営の方針

教育目標の達成へ向けて、全職員の叡智と創意を傾注し、教育の質的向上と内容の充実を図り、個々の職員の専門性を高める。このため、次の方針を推進する。

- (1) 将来の大分県のリーダーとなりうるグローバル社会で活躍する人材の育成をめざし、「大分県グローバル人材育成プラン」に則った特色ある教育活動に取り組む。
- (2) 一貫性のある活気あふれる学校づくりを目指し、学校運営組織が活性化するように、学年・分掌がマネジメント機能を生かした機能的・能動的な組織となるよう全職員で協働する。
- (3) 生徒と教師が一体となって課題を追求するとともに、一人一人の個性や能力が最大限に発揮されるように、「新大分スタンダード」を意識した積極的な授業改善を図る。
- (4) 教職員一人一人が、新たな時代にふさわしい資質・能力を備える必要性を理解し、積極的に研修に努めるとともに、校内研修の効果的な推進に努める。
- (5) 一人一人の生徒の実態を的確に把握し、心の結びつきを基調とした生徒指導、学年・学級経営に努める。
- (6) 生徒、保護者との信頼関係をいっそう深め、家庭や地域との連携を強めることで、教育目標の具現化に努める。
- (7) 学部・附属学校園、県教育委員会等との連携を密にし、附属学校としての使命達成に努める。

3 学校教育目標

「豊かな学びを基盤とし、高い志と広い視野を持つ実践力に富んだ生徒の育成を図る。」
～高い学力・深い愛の心・堪え忍ぶ力～

- 1 豊かな学び…教科、領域を通して質や深まりを重視した学習の展開、協働的・創造的な学び
- 2 高い志…意欲、自立、責任感、使命感、人間尊重の精神、行動規範
- 3 広い視野…多様性、鋭敏な人権感覚、寛容性、国際理解(国際感覚)、郷土を愛する心
- 4 実践力…問題解決能力(主体性、課題発見力、計画力、創造性、協調性、規律性、等)、コミュニケーション能力、英語運用能力

<求める生徒像>

(1)自ら課題を発見し、質の高いものを主体的・協働的に探究、表現できる生徒(知)

- 思慮深く考える力を持ち、適切な見通しの下で意欲的に行動する
- 社会や世界に向き合い、自らのこととして課題意識を持ち解決しようとする
- 社会的自立を目指し、自己の能力や創造力を伸ばす

(2)高い規範意識を持ち、お互いに認め合いながらともに学ぶ生徒(徳)

- 生命を大切にし、自他の人格や個性を尊重し合う
- 目標達成に向けて、互いを信頼しともに助け合い磨き合う
- 礼節を知り、社会に積極的に奉仕する

(3)心と体を見つめ鍛える生徒(体)

- 自ら心身を鍛え、発達段階に応じた体力を持つ
- 自らを律する芯の強さを持ち、最後までやり抜く強い意志を持つ

<求める学校像>

- 気品とたくましさを感じさせる学校
- 人と人との関わりを大切にする学校
- 整然とした美しい学校

<求める教師像>

- 附属中教員として誇りに満ち、常に自己の研鑽に努め、高度な知識・技能を獲得しようとする教師
- 教職に対する情熱と責任感を持つとともに、前向きで対応力の豊かな教師
- 教育界の動向を常に注視し、柔軟な思考で未知の課題に立ち向かう教師
- 広い視野や社会的常識を身につけた、人間性豊かな教師

4 本年度の重点課題

➤ グローバル人材の育成

- 小・中学校で連携した英語運用能力の向上
 - ・ 「外国語教育小中連絡委員会」による9年間を見通した到達目標及び指導計画の作成
 - ・ 中学校としての特色ある教育と GTEC for Students による到達度調査(検証)
 - ・ 生徒による言語活動を中心に据えた「英語で行うことを基本とする授業」の実施
- 総合的な学習の時間の新たな取組
 - ・ 学年別で「つきたい力」を明確にして、探究のプロセスを考慮した実践
 - ・ 教科横断的・統合的な学習、探究的な学習の場として再編成

➤ 学びの質や深まりを重視した学習の展開

- 「附属中授業改善スタンダード」による授業改善
 - ・ 「タテ持ち」体制による OJT の充実
 - ・ 全校で統一した学習規律を確認
 - ・ 「新大分スタンダード」の実践
 - ・ 小中一貫教育の推進
 - ・ フリートーク中学校バージョンの創出（思考力・判断力・表現力の育成）
- 質の高い集団づくり〔東長良中学校をモデルとして〕
 - ・ 学級目標とともに学習目標を設定し、教師と生徒が協働しながらより良い学習活動を創造
 - ・ 6期のマネジメントサイクルの導入による、課題発見から課題解決までの学習マネジメント能力育成
 - ・ 生徒会活動を中心とした生徒の自治的活動の推進
- 学びに向かう力（主体性、多様性、協調性）の育成
 - ・ 見通しを持って学習に臨む工夫(単元シラバス、家庭学習計画、学年部で工夫した取組)
 - ・ 共感的人間関係構築力や自己肯定感、自己存在感を育成する工夫された教育活動

➤ 不登校対策・特別支援教育の組織的取組〔合理的配慮をふまえて〕

- ・ いじめ・不登校対策委員会の定期的開催・活性化
- ・ 道徳の時間、人権学習の積極的推進
- ・ 外部機関との連携
- ・ 合理的配慮等の全員研修

6 生徒への重点指導

共創「チーム附中」

- 学習をマネジメントしよう（見通し・段取り）
- 仲間も自分も大切にしよう（自他の尊重）
- 美しく整えよう（礼儀・環境）